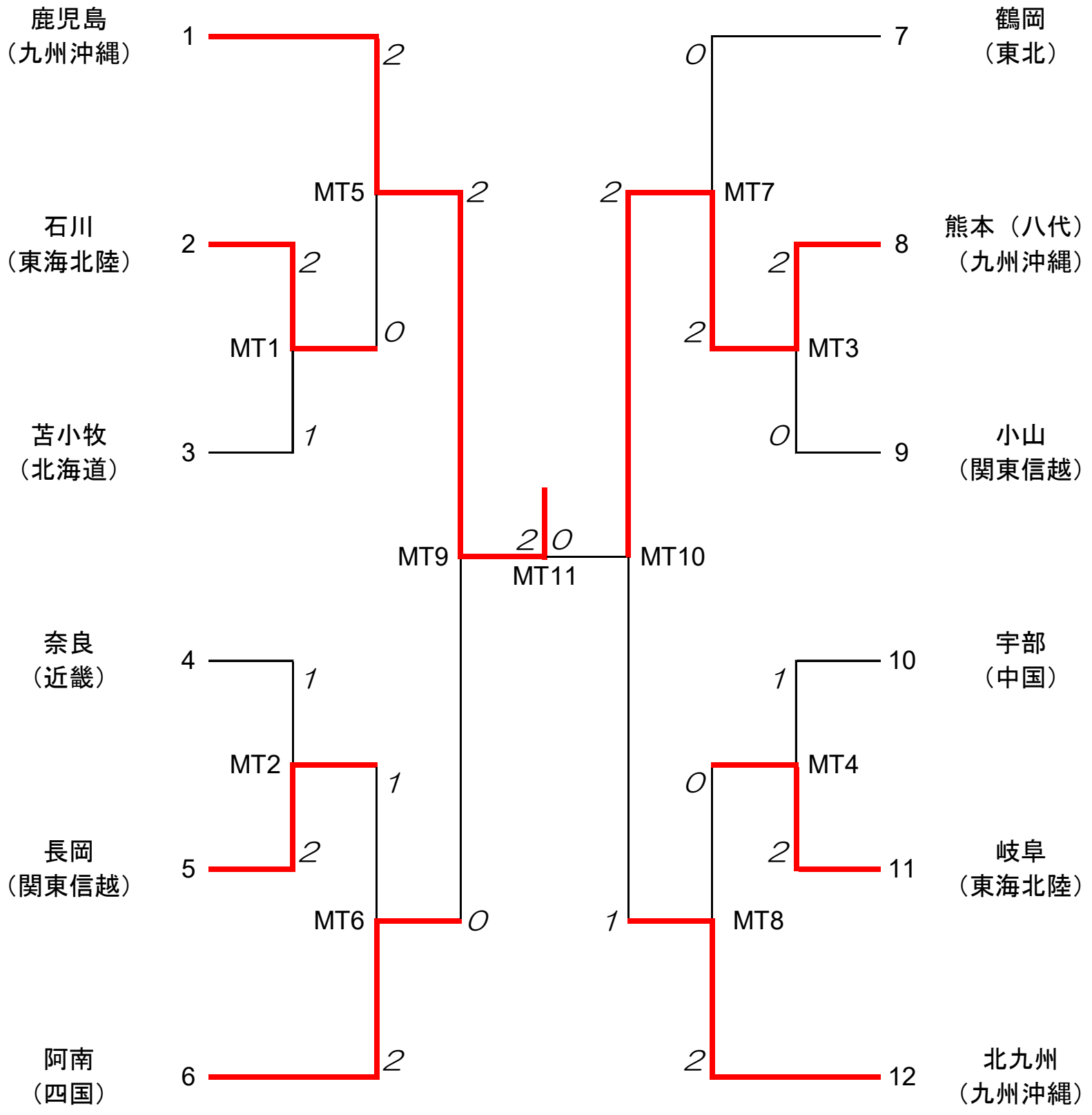
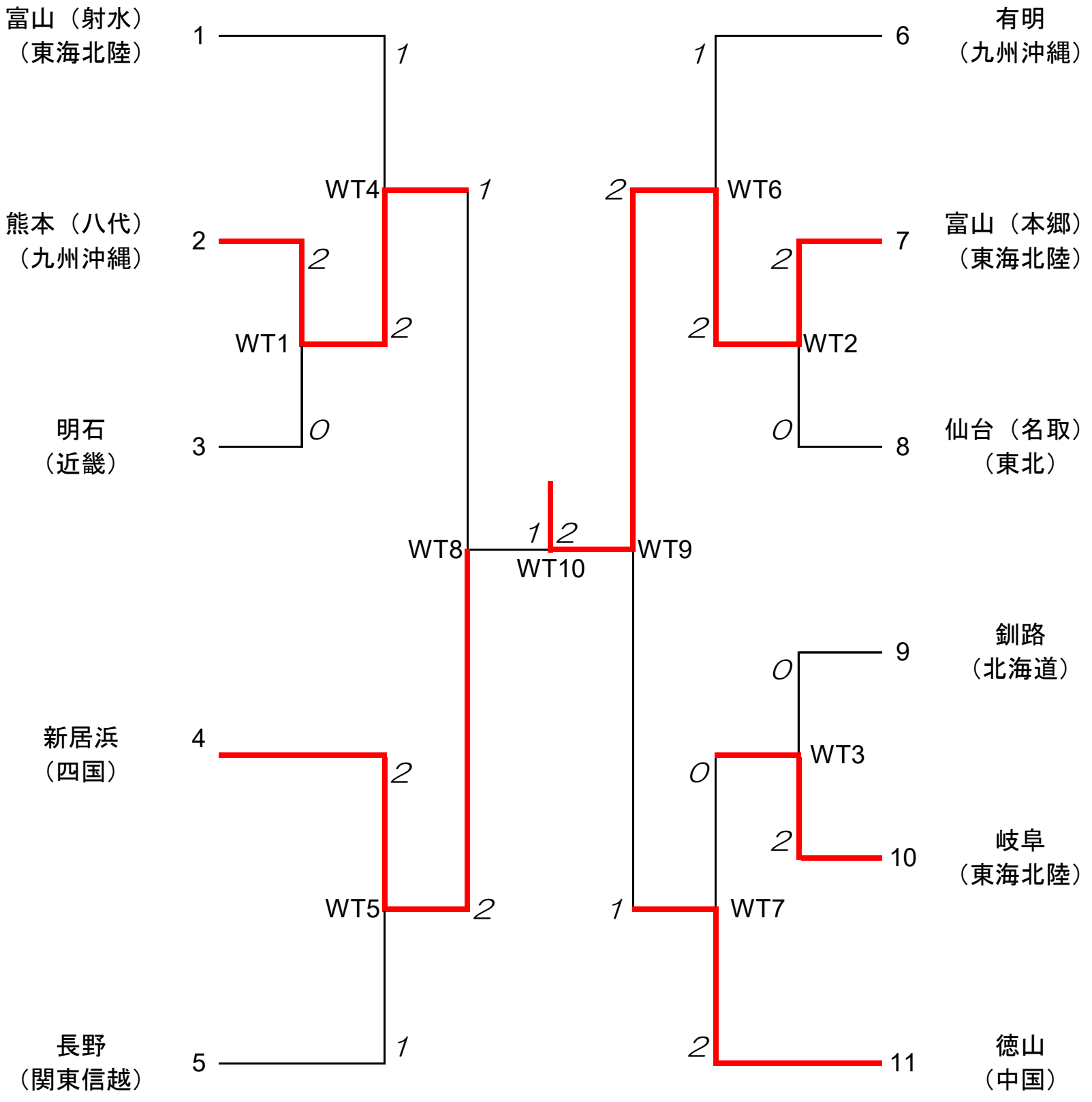
第60回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技　男子団体戦



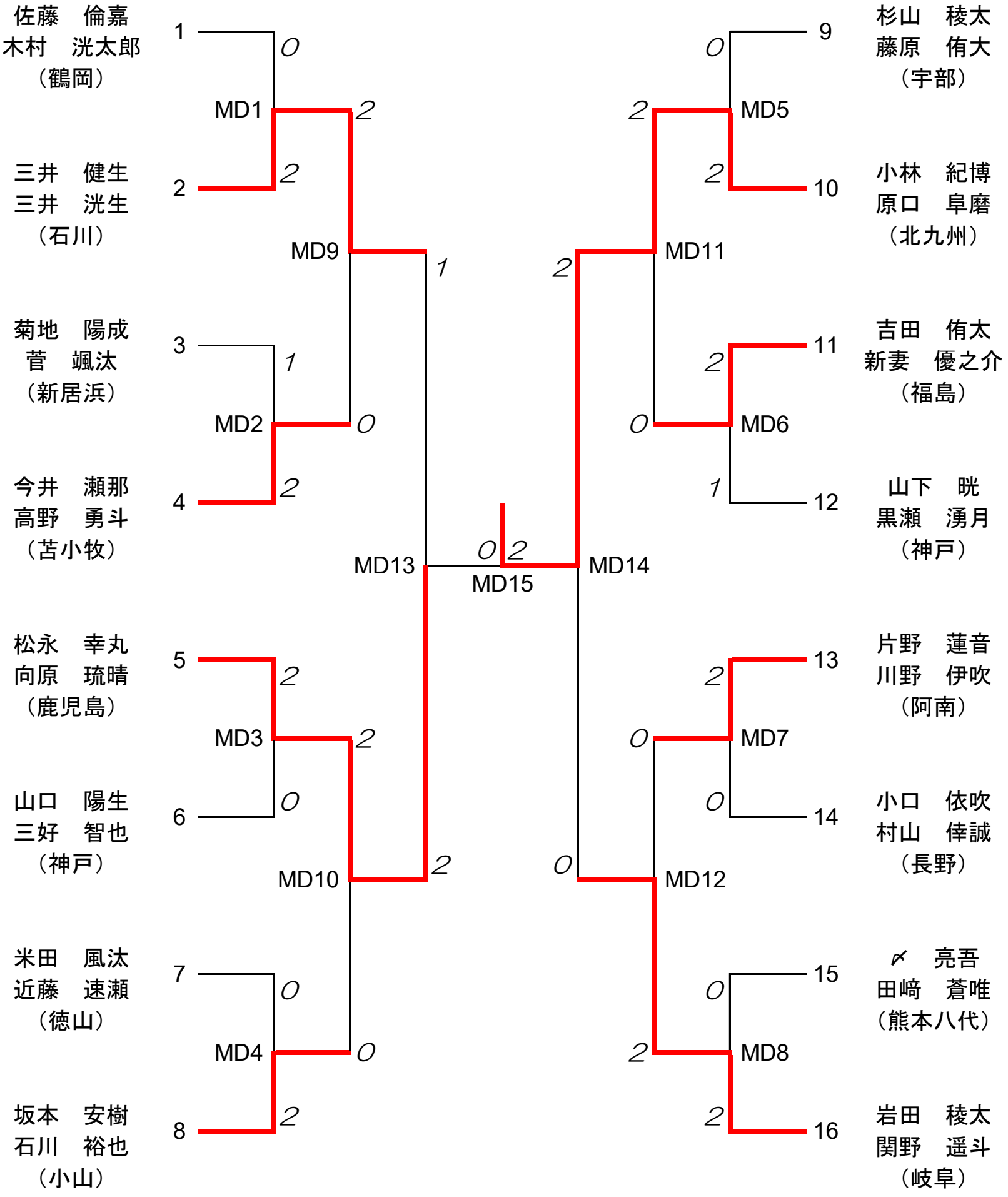
優勝	**鹿児島**	準優勝	**熊本（八代）**	第三位	**阿南** **北九州**

第60回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技　女子団体戦



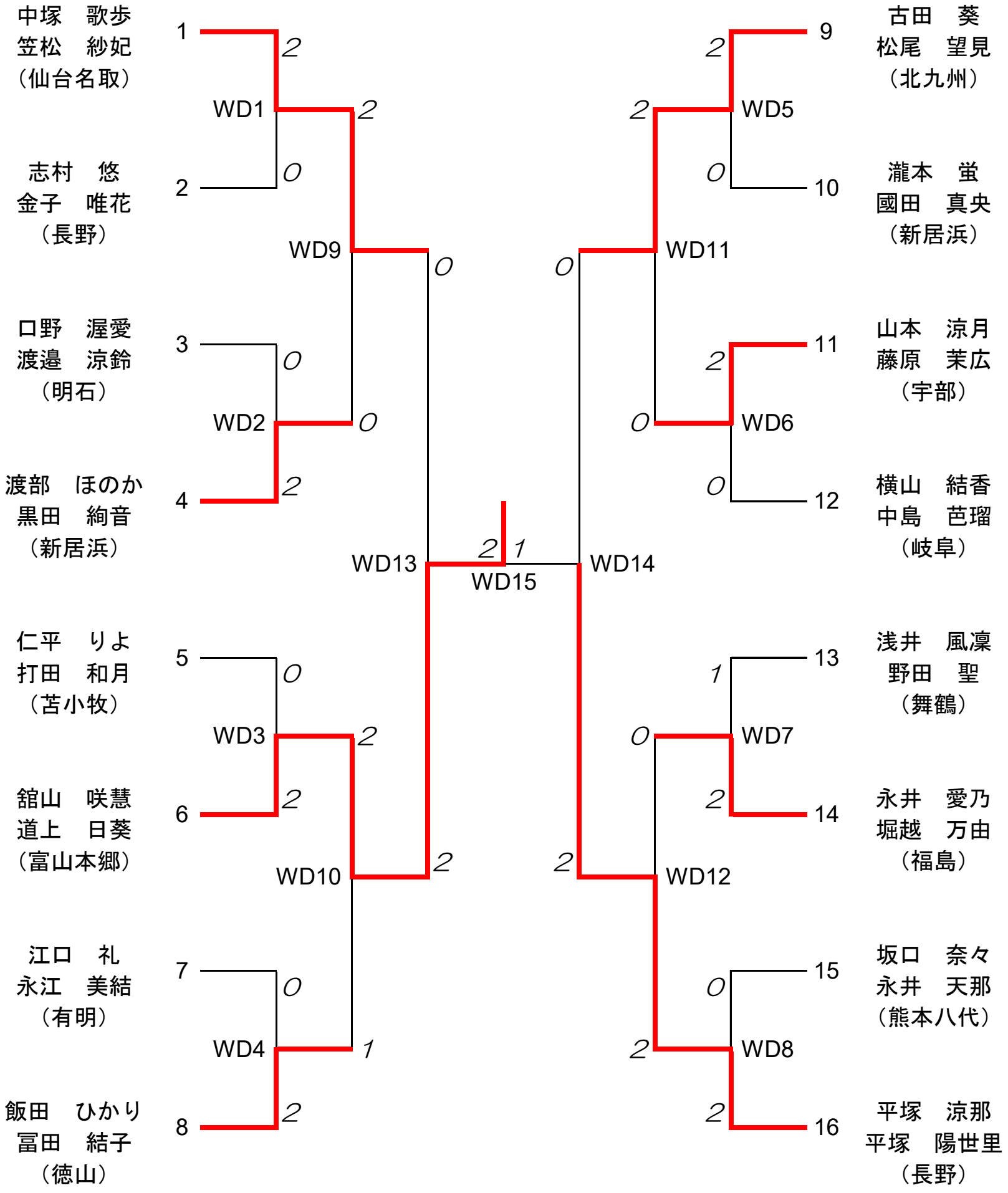
優勝	**富山（本郷）**	準優勝	**新居浜**	第三位	**徳山** **熊本（八代）**

第60回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技　男子個人戦ダブルス



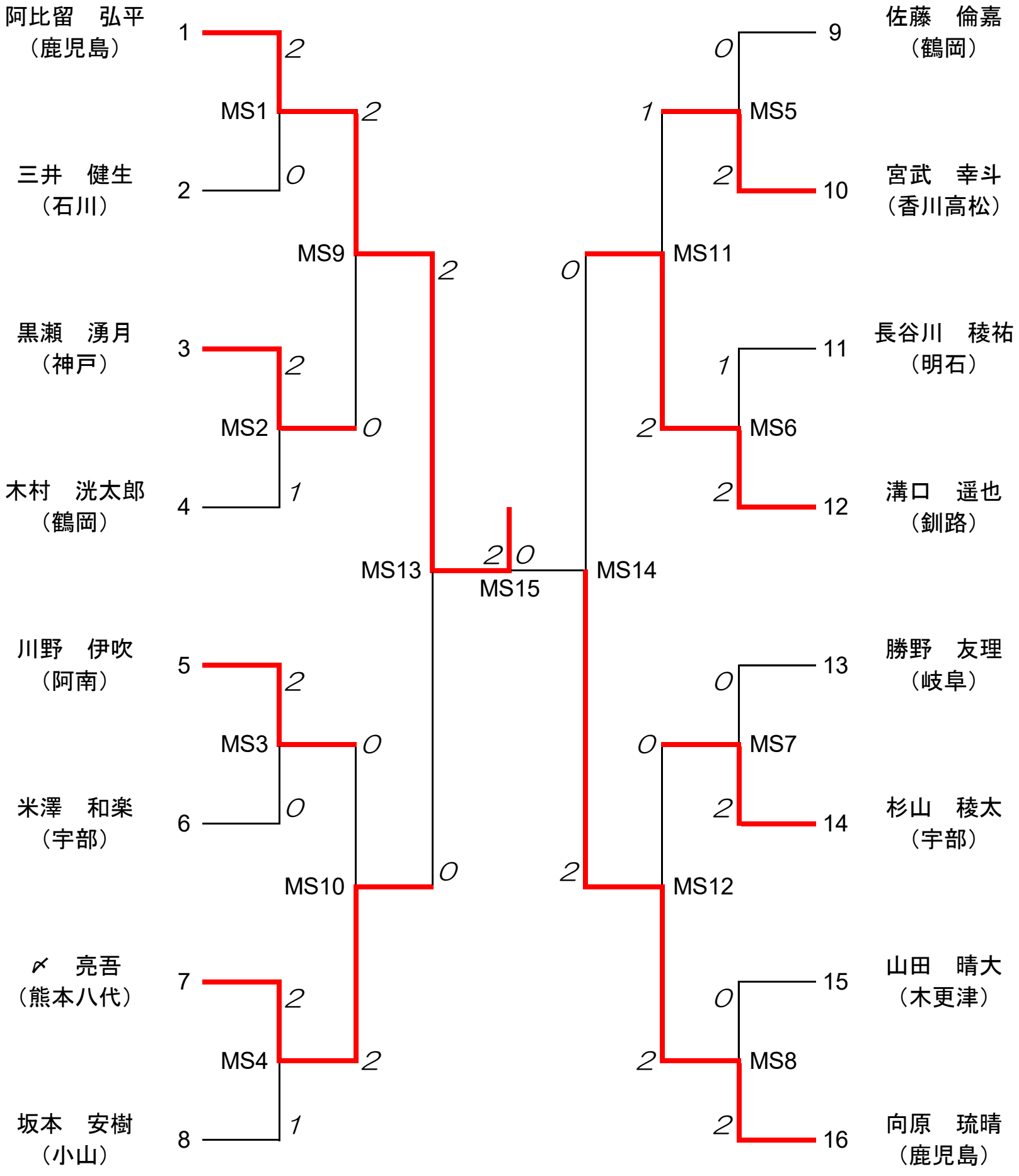
優勝	小林　紀博 原口　阜磨 （北九州）	準優勝	松永　幸丸 向原　琉晴 （鹿児島）	第三位	岩田　稜太 関野　遥斗 （岐阜） 三井　健生 三井　洸生 （石川）

第60回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技　女子個人戦ダブルス



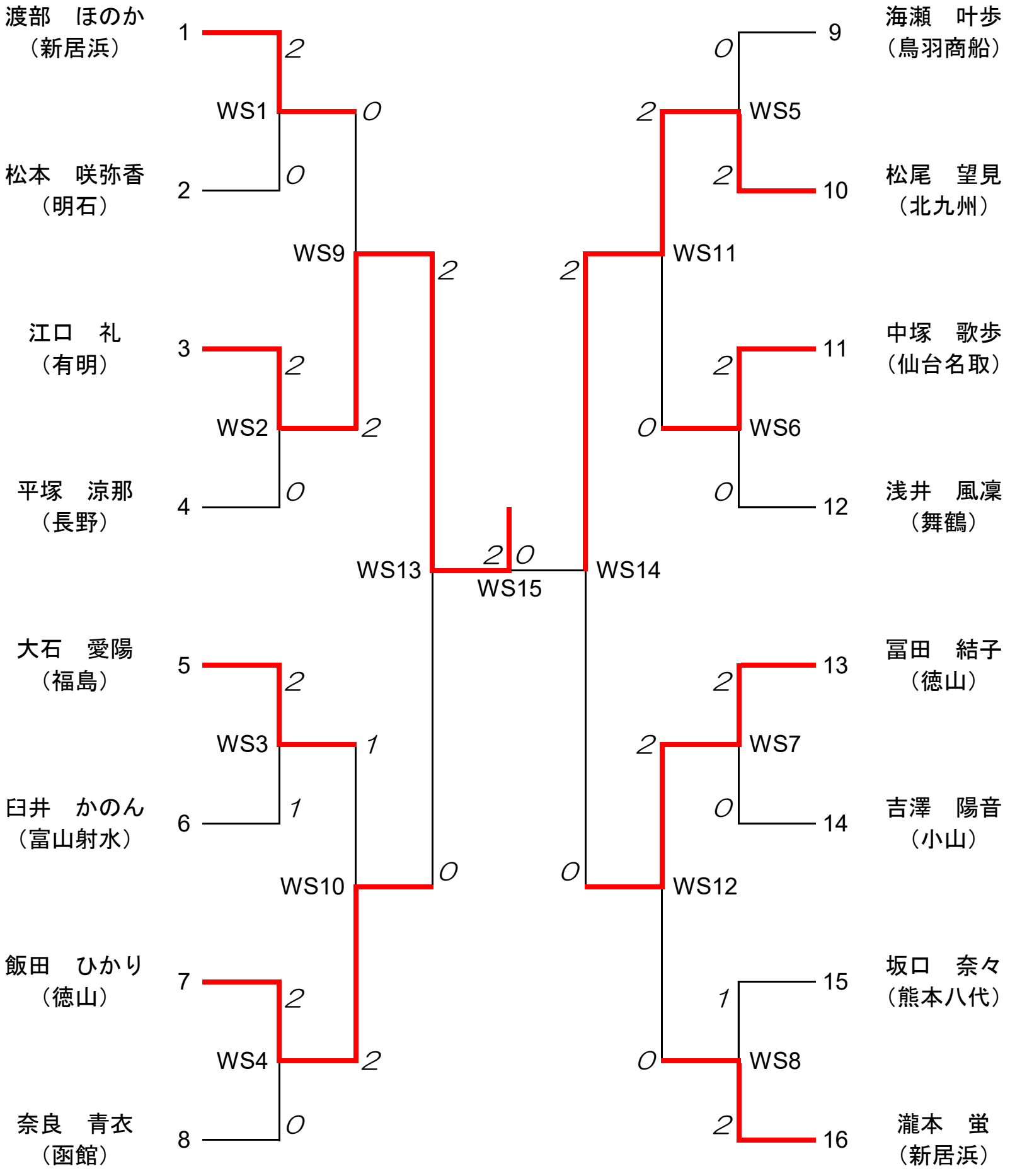
優勝	舘山　咲慧 道上　日葵 （富山本郷）	準優勝	平塚　涼那 平塚　陽世里 （長野）	第三位	中塚　歌歩 笠松　紗妃 （仙台名取） 古田　葵 松尾　望見 （北九州）

第60回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技　男子個人戦シングルス



優勝	阿比留　弘平 （鹿児島）	準優勝	向原　琉晴 （鹿児島）	第三位	〆　亮吾 （熊本八代） 溝口　遥也 （釧路）

第60回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技　女子個人戦シングルス



優勝	江口　礼 （有明）	準優勝	松尾　望見 （北九州）	第三位	飯田　ひかり （徳山） 冨田　結子 （徳山）

都道府県ごと参加者数一覧

都道府県	詳細	参加者数
北海道	釧路高専（北海道）	8
	苫小牧高専（北海道）	12
	函館高専（北海道）	3
宮城県	仙台高専名取（東北）	11
山形県	鶴岡高専（東北）	11
福島県	福島高専（東北）	6
栃木県	小山高専（関東信越）	14
千葉県	木更津高専（関東信越）	4
新潟県	長岡高専（関東信越）	11
富山県	富山高専射水（東海北陸）	11
	富山高専本郷（東海北陸）	10
石川県	石川高専（東海北陸）	11
長野県	長野高専（関東信越）	13
岐阜県	岐阜高専（東海北陸）	22
三重県	鳥羽商船高専（東海北陸）	4
京都府	舞鶴高専（近畿）	4
兵庫県	神戸高専（近畿）	6
	明石高専（近畿）	14
奈良県	奈良高専（近畿）	11
山口県	宇部高専（中国）	13
	徳山高専（中国）	14
徳島県	阿南高専（四国）	9
香川県	香川高専高松（四国）	3
愛媛県	新居浜高専（四国）	8
福岡県	北九州高専（九州沖縄）	16
	有明高専（九州沖縄）	11
熊本県	熊本高専八代（九州沖縄）	21
鹿児島県	鹿児島高専（九州沖縄）	11
	合計	292

シャトル使用実績一覧

シャトル名称(メーカー名)	使用数量(単位：球)
SKYCROSS GX-Ⅰ(ミズノ株式会社)	58
GFN110(株式会社ゴーセン)	52
ニューオフィシャル(ヨネックス株式会社)	188
合計	298

第６０回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技
兼 第４９回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会競技　顧問会議

日　時：令和７年９月５日（金）　代表者会議終了後

場　所：トヨオカ地建アリーナ　会議室

出席者：競技専門委員長・競技委員（担当校顧問）・各高専大会出場校顧問

1.　委員長挨拶
2.　配布物の確認（顧問会議資料、参考資料）

会議議事
1.バドミントン競技運営専門委員会委員の確認
2.　次年度競技専門委員長の選出依頼
3.　競技要項等の変更についての確認
4.　全国大会組み合わせ抽選・シード方法の確認
5.　方針確認事項
6.　その他

参考資料
1.　全国大会開催地区・主幹輪番

以上

令和7年度全国高等専門学校バドミントン競技顧問会議資料　　令和7年9月5日

競技専門委員長　米子高専　谷藤尚貴

1．バドミントン競技運営専門委員会委員名簿の確認

各種大会開催地区輪番(p.4 参考資料参照)

H21 九州沖縄･H22 東海北陸 H23 関東信越･H24 中国･H25 東北･H26 四国･H27 九州沖縄･H28 東海北陸･H29 関東信越
H30 九州沖縄･R1 中国･R2 近畿･R3 東北･R4 四国･R5 関東信越･R6 北海道･R7 九州沖縄･R8 東海北陸･R9 中国

地区	H 29 年度 (長岡)	H 30 年度 (鹿児島)	R 元年度 (山口)	R２年度 (舞鶴)	R３年度 (一関)	R４年度 (香川)	R５年度 (荒川)	R6 年度 (苫小牧)	**R6 年度 (苫小牧)**
委員長	龍頭信二 久留米	千葉 圭 一関	千葉 圭 一関	宮越昭彦 旭川	宮越昭彦 旭川	歸山智治 木更津	歸山智治 木更津	谷藤尚貴 米子	**谷藤尚貴 米子**
北海道	池田慎一 苫小牧	池田慎一 苫小牧	宮越昭彦 旭川	宮越昭彦 旭川	宮越昭彦 旭川	宮越昭彦 旭川	宮越昭彦 旭川	山﨑俊博 釧路	**山﨑俊博 釧路**
東北	窪田眞治 仙台名取	金田保則 秋田	金田保則 秋田	千葉 圭 一関	千葉 圭 一関	千葉 圭 一関	千葉 圭 一関	千葉 圭 一関	**野角 光治 仙台名取**
関東 信越	小林茂樹 長野	飯島洋祐 小山	飯島洋祐 小山	飯島洋祐 小山	飯島洋祐 小山	飯島洋祐 小山	飯島洋祐 小山	飯島洋祐 小山	**真志取秀人 産技荒川**
東海 北陸	山本桂一郎 富山射水	今岡克也 豊田	今岡克也 豊田	今岡克也 豊田	山本桂一郎 富山射水	山本桂一郎 富山射水	山本桂一郎 富山射水	北原 司 鳥羽商船	**北原 司 鳥羽商船**
近畿	上垣宗明 神戸市立	上垣宗明 神戸市立	上垣宗明 神戸市立	上垣宗明 神戸市立	上垣宗明 神戸市立	上垣宗明 神戸市立	上垣宗明 神戸市立	上垣宗明 神戸市立	**上垣宗明 神戸市立**
中国	中村 元 松江	曽利 仁 津山	曽利 仁 津山	浜崎 淳 広島商船	浜崎 淳 広島商船	大和義昭 呉	大和義昭 呉	柳澤秀明 徳山	**柳澤秀明 徳山**
四国	矢野 潤 新居浜	矢野 潤 新居浜	矢野 潤 新居浜	矢野 潤 新居浜	三井 正 新居浜	三井 正 新居浜	原野智哉 阿南	平山 基 阿南	**平山 基 阿南**
九州 沖縄	堂園 一 鹿児島	龍頭信二 久留米	龍頭信二 久留米	堂園 一 鹿児島	堂園 一 鹿児島	堂園 一 鹿児島	堂園 一 鹿児島	堂園 一 鹿児島	**堂園 一 鹿児島**

2．競技専門委員長の選出について

・２年毎の輪番制とした。全国大会開催と重なるのを避けるために、その先２年の担当予定地区からの選出。
１９年度顧問会議で了承。(積極的に希望される近畿地区の先生がおられましたら是非お願いします。)

3．競技要項等の変更について確認（H29～R1 の取り決め事項）

【H29】

1．**女子団体戦の正式種目化が認められる。**団体戦の総数は男子12校、女子9（8）校となった。女子の開催校枠については地区予選において開催校が優勝した場合は、開催校を地区代表とみなすため、8チームとする。また東海北陸地区については地区大会別開催により、優勝校による決定戦が必要となった。

2．申込書式に監督・コーチ・マネージャーの協会登録番号記載を追記した。よってベンチに入るものは必ず協会登録をすませた者に限られることとした。(監督については学校が認めた方であれば外部コーチでも登録可能だが、外部コーチとして認められていても専攻科生等の監督登録は認められない)

【H30】

3．**女子団体戦の前年度優勝地区枠が認められ、最大10校開催が可能**となった。女子の開催校枠については地区予選において開催校が優勝した場合は、開催校を地区代表とみなすため、９チームとする。
全国高専体育大会の規則は、全競技、現行のまま一定期間(5年程度)運用後、見直しを行うことが、第１２回全国高専連合会の総会（H29年6月）で定められた。

【R1】

4．団体戦を２－０で打ち切る方向が全国の顧問へのアンケートで多数であったが、会場の規模にも配慮する必要はある。(R3 本大会から打ち切り方式で運用)
→1回戦が3面同時に試合を実施する形式とそうでない形式では判断が異なる.

4. 全国大会組み合わせ抽選・シード方法の確認

申し合わせにより，組み合わせの際は日本バドミントン協会のレフェリーもしくはデピュティーレフェリーおよび競技専門委員長の同席が必要．今回も昨年同様，米子高専顧問谷藤（委員長）が現地参加.

5. 方針確認事項について 来年度(岐阜)・それ以降

１．男子団体戦地区割について

・2026 年度は，現状通り 12 枠の見込み。以後は，継続的に各地区の意見のとりまとめを試みる。

２．女子団体戦開催校枠の扱いについて（開催校が団体戦及び個人戦に出場できない場合の扱い）

・2026年度は，女子団体：東海・北陸1枠に戻す（主催：岐阜）

※2025年度大会は，記念大会として1枠増枠．女子団体：東海1枠，北陸1枠としている．

・開催校で女子団体戦が出場できない場合、同地区に開催校枠を割り振る、で良いか。

他．男女とも地区大会の参加校数あたり全国出場枠数の平均化について，今後アイデア出しも必要.

6. 補足事項・その他

競技運営専門委員長の仕事

・委員長として、毎年12月上旬に開催される競技運営委員会へ出席。**出席旅費は委員長所属校が負担**。

・抽選会への参加，助言。全国大会当番校から旅費支出。

・全国大会代表者会議への出席ならびに顧問会議の運営。**全国大会当番校から旅費支出**。

・連合会等から求められた競技部としての意見、今後の方針などに対応。

・競技運営等について担当校からの問い合わせや意見に対応。

全国大会に関するその他の注意事項

・プログラムに載せる日本協会の役員の確認を県市協会等にも依頼すること。

・連続優勝者の表彰について可能性のある場合は、連合会に連絡するなど、前もって準備しておく。

・連合会とバドミントン協会の表彰の実施。

表彰規定等（全国高専大会実施規則）

第7章　表彰

（団体表彰）

第21条　　各競技種目とも優勝校に文部科学大臣杯及び賞状を授与し、2～3位入賞校に賞状を授与する。

2　文部科学大臣杯は、優勝校の持ち回りとする。

3　前年度文部科学大臣杯被授与校には、文部科学大臣杯受賞章を授与する。

4　各団体競技種目（陸上競技、水泳を除く。）の1～3位入賞校の選手にメダルを授与する。

（個人表彰）

第22条　個人競技種目及び陸上競技、水泳の各競技種目の1～3位入賞者に賞状とメダルを授与する。

（特別表彰）

第23条　成績が特に顕著な個人及び団体に対しては、次の各号に掲げるところにより、特別に表彰することができる。

一　個人表彰　　陸上競技・水泳各競技種目、ソフトテニス、卓球、柔道各階級、剣道、テニス、バドミントンにおいて通算3回優勝した場合（リレー、ダブルスの場合は、同一メンバーに限る。）

二　団体表彰　　**第12条に掲げる各競技種目**において、連続3回優勝した場合（陸上競技・水泳は総合優勝した場合）

2　前項の表彰には、賞状とトロフィーを授与する。

確認事項：特別表彰はその発生大会の表彰式にて実施する。・・・発生が予想される場合は賞状とトロフィーを準備。団体の特別表彰は３連覇ごとに行う（３連覇時、６連覇時、９連覇時等）。・・・発生が予想される場合は賞状とトロフィーを準備。　※トロフィーに関しては事後で良い。

以上

（参　考　資　料）

全国大会開催地区・主幹輪番

全国大会輪番			
年度	地区	主管	専門委員長
平成 28 年度	東海北陸	富山（射水）	龍頭先生 （九州・久留米）
平成 29 年度	関東信越	長岡	
平成 30 年度	九州沖縄	鹿児島	千葉先生 （東北・一関）
令和元年度	中国	大島商船	
令和 2 年度	近畿	舞鶴（中止）	宮越先生 （北海道・旭川）
令和 3 年度	東北	一関（延期開催）	
令和 4 年度	四国	香川（宅間）	歸山先生 （関東信越・木更津）
令和 5 年度	関東信越 （旧：北海道）	産技（荒川）	
令和 6 年度	北海道 （旧：関東信越）	苫小牧	東海北陸 or 中国 谷藤（中国・米子）
令和 7 年度	九州沖縄	熊本（八代）	
令和 8 年度	東海北陸	岐阜	近畿　or　東北
令和 9 年度	中国	宇部	
令和 10 年度	近畿		関東信越 or 九州沖縄
令和 11 年度	東北		
令和 12 年度	関東信越		四国 or 北海道
令和 13 年度	九州沖縄		
令和 14 年度	四国		
令和 15 年度	北海道		